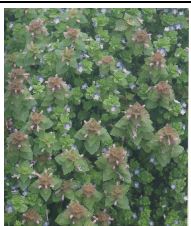
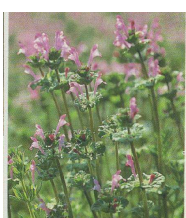
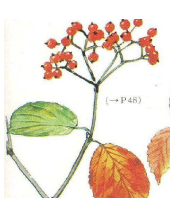
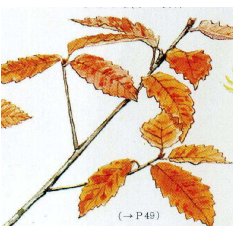
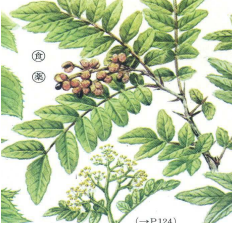
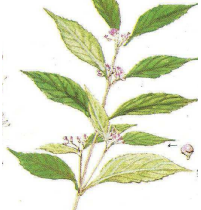
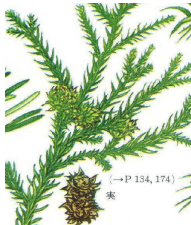


アカネ (アカネ科) 根を染料に。 茜色に染まります。 	オニタビラコ (キク科) 毛深いのが特徴。 高いのは80cm にもなります。 	カントウタンポポ (キク科) やさしい姿と色。 ガクは反り返らない。 
キジムシロ (バラ科) 広がった株の様子が、 キジが座った筈のようです。 	コハコベ (ナデシコ科) ジャックの森のは外来種。 おひたしにして食べる 地方もあります。 	シロヨメナ (キク科) 群生してますね。 秋の開花が楽しみです。 
スイカズラ (スイカズラ科) つる性。花は白から黄色に 変化します。 	スズメノヤリ (イグサ科) 春は毛槍のような穂が目立ちます。 	セイタカアワダチソウ (キク科) 花粉症の汚名を着せられましたが 実は無実でした。 
タネツケバナ (アブラナ科) 花はナズナ似。種 子の発芽時期に花が咲く。 	ダイコンソウ (バラ科) 黄色い花と葉が大根に似て います。 	ツクバキンモンソウ (シソ科) 筑波山で最初に確認され ました。白い花。 
ツルカノコソウ (オミナエシ科) 花はオミナエシに似て、 花後枝が出て増えます。 	ナルコユリ (ユリ科) 花が鳥除けの鳴子のように 連なって咲く。 	ハルジオン (キク科) 蕾のうちは下向き ジョオンではなく紫苑(シオン)です。 
ヒメオドリコソウ (シソ科) 外来種。稀に白い花も。 	ヘビイチゴ (バラ科) 黄色の可愛い花 毒はないが不味い。 	ホウチャクソウ (ユリ科) 茎の途中で枝分かれ。 花が宝鏡に似。 
ホトケノザ (シソ科) 葉が仏像の台座に似ている。 	ミツバツチグリ (バラ科) キジムシロにそっくりですが、 違いは小葉の数 	ムラサキケマン (キンポウゲ科) 花が華鬘(仏具)に似ている。 
ウラシマソウ (サトイモ科) 小さい花が紫色の包の中の 長い紐のもとにつきます。 	ムラサキニガナ (キク科) 夏に紫色の花が下向きに 咲きます。 	ヤブタビラコ (キク科) 背は伸びず、茎が細かく枝分 かれして花が開きます。 

■ジャックの森の樹木■

おとずれ山の会

ウグイスカグラ (スイカズラ科) ルビーのような透明な実は食べられます。		ガマズミ (スイカズラ科) 秋の赤い実は果実酒などに使われます。	 
クヌギ (ブナ科) 樹液はカブトムシの大好物。		コナラ (ブナ科) この森に多い。 昔は薪炭として活用されました。	 
ゴンズイ (ミツバウツギ科) 魚の“ゴンズイ”に似た木肌。 紅葉と赤い実が楽しめます。		サンショウ (ミカン科) ご存知ウナギの脇役。新芽が美しい。	 
シロダモ (クスノキ科) 葉裏は白。雌株は秋に赤い実をつけます。		ニワトコ (スイカズラ科) 乾燥した枝葉は打撲骨折薬に利用されます。	
ムクノキ (ニレ科) ざらざらした葉は研磨剤に。 黒紫の実が美味。		ムラサキシキブ (クマツヅラ科) 秋に紫色の実がつきます。	
モミジイチゴ (バラ科) 葉はモミジの形に似ています。 黄色い実は美味。		ヤマザクラ (バラ科) 葉と同時に花が咲きます。葉の色は赤系。	
ウコギ (ウコギ科) 地方によっては若葉でウコギ飯をつくります。		スギ (スギ科) 樹高 40mにもなる高木で、材木として広く利用されています。(日本特産) 花粉の少ない品種など開発途上。	
タラノキ (ウコギ科) 山菜で有名です。トゲにご注意。		モウソウチク (イネ科) 高さは10mを超し、節は一輪。 竹材として活用され、筍(たけのこ)は食用として賞味されます。	

*この資料は、平成 25 年 4 月 13 日に行われた「ジャックの森・自然観里と里山体験」で使用したものです。

*イラストは「植物図鑑」(小学館)から引用させていただきました。

(作成:平成 25 年 4 月 10日 おとずれ山の会)